



発 行
 公益財団法人 兵庫県
 身体障害者福祉協会
 神戸市中央区坂口通
 2丁目1番1号
 兵庫県福祉センター6階
 TEL 078-242-4620
 FAX 078-242-4260
 発行人 和田 修

令和3年度災害時要援護者支援研修会を開催

令和3年9月16日（木）兵庫県福祉センターにおいて、第一部「災害時要援護者支援研修会」、第二部「身体障害者相談員研修会」を開催しました。今年度は新型コロナウイルス感染症予防対策として、人数を制限しての実施となり、県内12市町から12名が参加されました。

和田理事長の挨拶のあと、兵庫県企画県民部防災企画局防災企画課防災計画班班長の野田政裕氏より、「震災の教訓を生かした防災減災対策」という演題で講演をしていただきました。

近年の災害は、高齢者や障害者など、社会的に支援が必要な人が犠牲の中心になってきている点と、高齢者や障害者にかかわらず避難行動をなかなか起こさないということが特徴として挙げられます。災害が発生しても避難しない、避難所に行こうとしないのは自分の過去の経験から照らして、この程度なら大丈夫だろうと思ってしまう正常性バイアスが働いてしまうからで

す。この正常性バイアスをいかに克服して、早期に避難行動につなげていくかが重要になってきます。

将来甚大な被害が発生する可能性の高い南海トラフ地震に対し、行政の取り組みとして平成27年6月に「南海トラフ地震・津波対策アクションプログラム」を定め、しっかりと耐え、いち早く立ち直る減災社会・兵庫の実現を基本理念に、ハード対策、ソフト対策を適切に組み合わせることによって巨大地震、津波災害被害の最小化を図ります。

具体的
 な取り組
 みとして
 ハード面
 では、建
 物などの
 耐震化、
 津波防御
 対策等
 で、ソフ



ト面では、避難率向上に向けた取り組み、防災と福祉の連携による個別支援（避難）計画作成、防災力強化県民運動の推進、「ひょうご防災ネット」ア

令和3年度兵庫県身体障害者相談員研修会を開催

第二部は、兵庫県健康福祉部障害福祉局障害福祉課障害政策班班長の女鹿貴史氏より「身体障害者福祉制度等の概要」という演題で講演をしていただきました。

障害の種類としては、身体障害、知的障害、精神障害、発達障害があり、身体障害とは先天的あるいは後天的な理由で身体機能の一部に障害が生じている状態です。

障害者に給付される障害福祉サービスについては、大きく自立支援給付と地域生活支援事業に分かれています。自立支援給付については、介護給付、訓練等給付があります。介護給付のサービスは、居宅介護、同行援護、重度訪問介護等があり、訓練等給付サービスは、自立生活援助、就労定着支援等があります。

障害者差別解消法は障害を理由とする不当な差別的取扱いと合理的配慮の不提供を障害者差別と位置づけ、行政機関や民間事業者に法的義務（一部民間事業者に努力義務）を課しています。不当な差別の取扱いの禁止とは、正当

プリの開発、提供等です。今後の防災・減災の促進に有効に活用できる意義のある研修となりました。

な理由がないのに、障害があるということサービス等の提供の拒否・制限をすることで、合理的配慮の不提供の禁止とは、障害のある人から何らかの配慮を求める意思の表明があったにも関わらず、社会的障壁を取り除く合理的な配慮をしないことです。

講演で示唆していただいた内容は、今後の業務に有効に活用できるものと思われま

なお、今回の研修会に参加できなかった相談員の方々は、後日YouTubeによる動画配信やDVDにより視聴できますので、各市町担当課にお尋ねください。



ねわあいフェスティバル in 神戸に参加しました

メリケンパーク会場内ブースにて、「みんなの声かけ運動」ポケットティッシュ、リーフレットの机上配布及び風船の実演配布を行いました。

推進員の方々も参加いただき、風船とリーフレットをもって会場を回りながらの配布をしていただきました。

風船は大盛況で、通りがかった子どもたちが皆もらっていつてくれました。また、わざわざ風船を探してブースを訪れる方も多く、皆ティッシュやリーフレットもお持ち帰りくださいました。中には「みんなの声かけ運動」に興味をもち、声かけ方法や講習会等についてのご質問もいただき、お話しさせていただく場面もありました。

また、風船をもらいに来たお子さんに自分で風船を膨らませる体験もしてもらいましたが、これも大変好評でした。中にはそのままティッシュの配布まで手伝ってくれる子もいました。

16日には齋藤知事がブースに来てくださり、和田理事長が「みんなの声かけ運動」について説明し、推進員の方とともに写真を撮りました。

両日合計で風船600個以上、リーフレット500部、ポケットティッシュ900個以上配り、当日推進員の申し込みも2件いただきました。



障害者のための弁護士・福祉専門職無料法律相談

(毎週火・木曜日 13:00~16:00)

※祝日・年末年始を除きます。木曜日は兵庫県弁護士会の自主事業として実施しています。



相談



差別や虐待、悪徳商法、財産管理等々。法律に関わる問題について困っていることはありませんか？皆様のお悩みに、弁護士と福祉専門職（社会福祉士・精神保健福祉士等）が三者同時通話システムを使って無料で対応します。

相談対象者：①障害者(本人) ②家族や支援機関の職員 ③行政機関の職員
④障害者雇用の企業担当者等



電話：078-362-0074

FAX：078-362-0084

※法律的な観点からの助言を行うものであり、差別事案等の解決まで保証するものではありません。
※ファクスにつきましては、回答文書作成等のために時間を要することがありますので、あらかじめご了承ください。

※この法律相談は高齢者向け相談と併せて実施しています。

【お問い合わせ先】 兵庫県健康福祉部障害福祉局障害福祉課 TEL：078-362-9104

FAX：078-362-3911

東京2020パラリンピック 兵庫県聖火フェスティバル

東京2020パラリンピック聖火の一部となる「兵庫県の火」を集火・出立する兵庫県「聖火フェスティバル」が、令和3年8月16日、神戸市須磨区の神戸総合運動公園陸上競技場で開かれました。

はじめに、「集火式」が行われ、41市町代表が、各市町で採火された「市町の火」が灯ったランタンを持って入場。ランタンの火は、播磨、丹波、但馬といった旧五国ごとに「五国の火」として集められた後、さらに一つの「兵庫県の火」となりました。



旧五国ごとに「五国の火」として集火



地域での採火イベント「赤穂浪士の墓前で」(赤穂市)



41市町代表が入場する様子
県内41市町で採火された「市町の火」



開会式
齋藤知事あいさつ

開会式では、齋藤元彦知事が主催者を代表して「皆さんの思いが選手たちに伝わって支えになると確信している。障害者スポーツの一層の発展を祈念する」と述べられました。

最後に、「兵庫県の火」を開催都市である「東京」へ送り出す「出立式」が行われました。火はリレーにより東京に運ばれ、パラリンピック大会発祥地のイギリスのストークマンデビルや他の46都道府県で採火された火とともに集約されて「パラリンピック聖火」となりました。

12月3日～9日は「障害者週間」です

「障害者週間」は、平成16年6月の障害者基本法の改正により、国民の間に広く障害者の福祉についての関心と理解を深めるとともに、障害者が社会、経済、文化その他あらゆる分野の活動に積極的に参加する意欲を高めることを目的として、従来の「障害者の日」(12月9日)に代わるものとして設定されました。



「兵庫県の火」の「出立式」

*基本原則とは？

- ・みんなと一緒にまちで暮らす
- ・障害を理由とする差別をなくす
- ・世界の人と協力しあう



令和3年度 兵庫県障害者福祉大会・障害者芸術文化祭の開催について

令和3年度兵庫県障害者福祉大会・障害者芸術文化祭が、左記の日程で神戸市において開催されます。

当初は、たつの市で開催予定でしたが、諸般の事情により、変更となりました。はじめに、障害者芸術文化祭が行われ、太鼓演奏や手話落語が舞台上で練り上げられます。

続いて、障害者福祉大会が行われ、身体・知的・精神の各障害者団体の功労者等の表彰が行われ、当協会からは、「地域身体障害者団体育成功労表彰」19名、「地域身体障害者支援功労者表彰」1名、「ボランティア貢献感謝」3名の計23名の身体障害者福祉に尽力された方々に理事長から賞状が授与されます。さらに、当日は障害をテーマとした心の輪を広げる作文やポスターの入賞者への知事表彰も行われる予定です。

■令和3年度兵庫県障害者福祉大会
◇日時…令和3年11月28日(日)

◇13時開場～15時10分閉会
◇場所…神戸文化ホール(中ホール)
(兵庫県神戸市)

電話 078-351-3535

近畿ブロック福祉大会と 身体障害者相談員研修会を YouTube 配信で開催

兵庫県身体障害者福祉協会が主管となつて、第41回日身連近畿ブロック福祉大会・第23回日身連近畿ブロック身体障害者相談員研修会を令和3年12月3日(金)～9日(木)の障害者週間の期間限定でYouTube 配信にて開催いたします。

福祉大会は、近畿府県・政令指定都市の身体障害者団体が、障害者の完全参加と平等を促進するため、ともに力を合わせて当面する諸課題に取り組み、障害者福祉の向上に尽力していくことを誓い、決議事項を国や関係機関に対して要望いたします。

また、同時配信で、身体障害者相談員研修会が開催されます。

新型コロナウイルス感染予防のため、ウェブ上での開催とさせていただきます。インターネットについては、慣れない方もいらつしやることと思いますが、この機会にお友達もお誘いあわせのうえ、ご視聴いただけると思います。

詳しくは、市郡町身体障害者団体事務局にお問い合わせください。



丹波篠山にて 防災研修会を開催しました。

丹波篠山市身体障害者福祉協議会では、令和3年8月24日、丹波篠山市四季の森生涯学習センターにて、障害者自助力強化研修会を開催しました。

当日参加者35名。「早期避難の重要性について」をテーマに、2名の講師を招いて防災や自助力についての講義を受けました。

演題1「丹波篠山市の防災における取り組むについて」

丹波篠山市市民生活部市民安全課

課長補佐 大上敬之氏

丹波篠山市は、市と住民との連携を取るため、自治体ごとの避難訓練に力を入れていきます。昨年度は障害当事者との合同避難訓練を行い、注目を集め、そのときの取り組みの様子を、動画や施策の説明とともにお話しいただきました。

演題2「早期避難の重要性と避難時の持ち込み用具体験」

Motoroひょうご 栗木 剛氏

「楽しくなくっちゃ 講演会じゃない！」をメインテーマに、毎回ちょっと変わった講演をしてくださる栗木氏。今回の参加者の中にもファンがいらつしやうたよう、講演前から数人に囲まれて談笑されていました。ずらつと並んだ避難用具を前に、自

主避難の重要性や丹波篠山の災害の特徴を時に楽しく、時に厳しくお話しされ、講義の終わりには皆で避難用具を囲んで体験しました。

参加者の方からも様々な質問や意見が寄せられ、活気のある研修会となりました。また、お土産として防災食と県の防災パンフレットが配られ、講義に使用した避難用具も各自お持ち帰りいただきました。ご自宅にて、避難準備についてご家族と話し合うきっかけになれば幸いです。



令和3年度芸術・文化交流会 和ろうそくの絵付け体験と 美術鑑賞(ハリーポッターと 魔法の歴史)

令和3年9月25日(土) 兵庫県立美術館において「和ろうそくの絵付け体験と美術鑑賞」を開催いたしました。神戸北野工房のまちの中にある和ろうそくKobe 松本商店の店長、藪野崇史様と絵付師、松本沙

耶香様を講師として招き、和ろうそくができるまでの貴重なお話と絵付けを体験していただきました。和ろうそくの原料は櫨の実から抽出し、独特の炎の揺らぎを出すには一本一本手作業で作られているようです。参加者は迷いながらも照れながらも楽しく絵付けされていました。体験終了後は、兵庫県立美術館の美術鑑賞として、ハリーポッターと魔法の歴史の美術鑑賞をしました。芸術の秋を楽しめた体験型交流会となりました。



松葉ガニなら、山陰浜坂で!

カニファミリーコース
平日1泊2食 1室2名様利用
大人お一人様
(障がい者手帳をお持ちの方)
¥13,750~ (税込)

<お品書き>
カニずき・お造り(甘えび)・カニ味噌・カニ雑炊・フルーツ

浜坂温泉保養荘
おんせんとうまいもんでおもてなし
☎(0796)82-3645
〒669-6702 兵庫県美方郡新温泉町浜坂775
http://www.hamasaka-ni.com/